8月

詩曲　すずきこう

♩=78

なつがまたきたあーのときからこと
もはちがつわすれられないせん
はせんそうしらないいせいしゃくに

しなんねんたつのだろうかせみ
ちおくられたかえてこないだれ
のためだとせんそうじゅんびをやめ

がげんきだしずかなーてらにあい
をにくむかだれがーすすめたせん
てほしいいかたりべもさけぶきい

にきましたちちのおはかにいつ
そうなければころさーれずにいま
てほしいへいわのために

八月

すずきこう

一

夏がまた来た
こと何年
せみが元気だ
会いに来ました
経つあの時から
静かなのだろう
父の寺に
お墓に

二

今も八月
戦地から
誰かれ
戦争を忘れ
僧帰
な送られ
けむっ
れかれ
ば　誰が進
殺さ
れめ
ずた
に

三

今は戦争
国のため
や欲しだ
いめて知
て欲しいと
聞いて　ら
いて　な
ば　い
　戦争
平語り準
和の部備
のも叫を
ため
にぶ